

# 減税日本ナゴヤの不祥事が議会の信用を失墜 減税日本代表の河村市長が責任持った対応を（9月14日）

## 減税日本ナゴヤ以外の全53議員で要請

9月14日朝、減税日本ナゴヤ以外の全議員53名の連名で、「河合優議員を公認した責任を自覚し、河合優議員の進退について責任を負うことを強く要請する」内容の要請書を、減税日本代表の河村たかし市長に手渡しました。

河村代表は「1週間ほど前に（河合議員に）会う段取りだったが、キャンセルになった。話ができるようにしたい」と答えました。

## 市長の本会議答弁はまるで他人事

その直後の本会議で、河合議員に対する対応を追及された市長の答弁は、本当に責任を自覚しているかというようなものでした。河合議員を公認した経緯は、

「平成22年12月23日、公認について評価する会が開かれ、支援団体の幹部6名で面接した。河合議員は2位だった。私は面接していない」（自民党市議への答弁）とか、「市民の信託がなければ、辞めることを自ずと考えられる」（民主党議員への答弁）というもの。市長と政党代表の立場を使い分けられているとしても、他人事のような答弁でした。

## 減税日本ナゴヤは自らの責任で解決を

河村代表への要請に、減税日本ナゴヤ市議団は加わりませんでした。自ら招いた議会の混乱は、自らの責任で解決すべきなのに、減税ナゴヤにはそれができないため、議会として異例の要請となったのです。減税日本ナゴヤの責任を自覚すべきです。

## 名古屋市会の正常化に関する要請書

平成24年9月14日

減税日本  
代表 河村たかし 様

昨年、政令指定都市では初となる市議会解散リコールが成立し、その後の出直し市議会議員選挙では、河村たかし氏が代表を務める減税日本から新たな議員が誕生し、減税日本ナゴヤが名古屋市会での最大会派を結成することとなった。

しかしながら、出直し市議会議員選挙後の新たな名古屋市会では、減税日本ナゴヤ所属議員のたび重なる不祥事により、議会が混乱し、名古屋市会及び市会議員に対する市民の信頼を大いに損なわせる事態となっている。

名古屋市会では、議会の正常化を期すため7月2日には各会派団長による異例の議会運営委員会参与会を開催し、減税日本ナゴヤに対して嚴重注意を行った。しかしながら、その直後も、減税日本ナゴヤ所属議員であった河合優議員による数々の不祥事・事件が判明し、市民の名古屋市会及び市会議員に対する信頼が大いに損なわれる事態が続いている。一方、河合優議員は自らが起こした事態について何ら反省することなく、議員を辞職するつもりはないとしている。

我々名古屋市会議員は、名古屋市会への市民の信頼を取り戻すため、減税日本の責任者である河村たかし代表に対し、河合優議員を公認した責任を自覚し、河合優議員の進退について責任を負うことを強く要請するとともに、本件に対する河村たかし代表の明確な回答を求める。

自由民主党名古屋市議員団：渡辺義郎、堀場幸、伊神邦彦、横井利明、岡本善博、中田ちづこ、中川貴元、藤沢忠将、ふじた和秀、坂野公寿、丹羽ひろし、中里高之、西川ひさし、東郷哲也、岩本たかひろ、成田たかゆき、松井よしのり、浅井正仁、斎藤たかお

公明党名古屋市議員団：三輪芳裕、ばばのりこ、中村満、金庭宜雄、田辺雄一、沢田晃一、福田誠治、木下優、近藤和博、小林祥子、長谷川由美子、佐藤健一

民主党名古屋市議員団：久野浩平、渡辺房一、齋藤まこと、山本久樹、小川としゆき、日比健太郎、おくむら文洋、うかい春美、おかどめ繁広、加藤一登、服部将也、

減税日本 新政会：舟橋猛、中村孝太郎、堀田大規、加藤修、山尊正裕、玉置真悟

日本共産党名古屋市議員団：わしの恵子、山口清明、さしあこ、田口一登、岡田ゆき子